

1 主題名

自分のよさを伸ばそう 【個性の伸長】 小学校 中A (4)

2 ねらいと教材

(1) ねらい

劣等感を抱いていた主人公が自分の特徴に気付き、夢に向かって生きていく姿を通して、自分の新たな個性に気付き、そのよさをさらに伸ばしていこうとする態度を育てる。

(2) 教材名

「うれしく思えた日から」(わたしたちの道徳 小学校3・4年 文部科学省)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

「自分のよさを伸ばす」とは、自分の特徴に気付き、長所を伸ばすことである。また、「自分の特徴に気付く」とは、自分の長所にも短所にも気付き、特徴を多面的に捉えることである。自分の長所を伸ばしていくことは自己肯定感の向上や成長を促す意欲に結びつくものであるとともに、困難に直面したときの心の支えにもなる。自己肯定感の向上や成長を促す意欲は、自分の個性を伸ばすことにつながり、その個性を最大限に生かしていくことがこれからの児童の夢に大きな影響を与えていくものとする。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の児童は、帰りの会等で、友達にかけてもらって嬉しかった言葉やしてもらってよかった行動を、作文に書いて伝え合うことで、友達のよさに気付き、互いを理解しようとする心情が育ってきている。しかし、自分自身についてじっくり振り返る経験が少ないため、短所や気になる所はたくさん思い付くが、よい所を見いだすことのできない児童がいる。そこで、自分のよさを新たに認識できるようにするとともに、そのよさを伸ばしていこうとする態度を育てていきたい。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本教材は、自分には何の取り柄もないと思っていた主人公が、友達や先生、家族からかけもらった言葉をきっかけに自分のよさに気付き、伸ばしていくという話である。自分のよさを野球に生かしたいと思った主人公は、厳しい練習にも耐え、一年後には自信をもって夢に向かっていくようになる。

本時の指導に当たっては、展開前段で「いい所なんて一つもない。」と思っていた主人公の気持ちを考え、劣等感をもっていた主人公に共感させる。さらに、主人公が「もう一年前のぼくじゃない。」と言えるまで変わることができた理由を考え、家族や友達の言葉で自分のよさに気付き、自信をもって夢に向かって生きていく主人公の変容を捉えさせたい。展開後段では、特別活動の時間に考えた「自分のよい所」をさらに伸ばしていくためにできることを考えさせる。ペア学習を取り入れながら友達同士で伝え合い、共有したり励まし合ったりしながら、自分のよさを伸ばしていこうとする態度につなげていきたい。

4 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導入	1 自分のよい所を紹介し合い、本時の課題を確認する。DVD 4-1	○自分のよい所はどんな所ですか。 ・弟の世話ができて優しい。 ・走るのが速い。 ・手伝いをよくして、働き者。 自分のよい所をさらにのばすために	・学級活動で考えた「自分のよい所」（「わたしたちの道徳」P47）を振り返らせる。
展開	2 教材を読んで、話し合う。DVD 4-2 (1) 「いい所なんて一つもない」と思っていた主人公の気持ちを考える。 (2) 「もう一年前のぼくじゃない」と思っている今の主人公について考える。	○「いい所なんて一つもない」と思っていた主人公は、どんなことを考えていたでしょう。 ・毎日がつまらない。 ・自信がない。 ・みんなのようになりたいのに… ◎主人公が、「もう一年前のぼくじゃない」と変わることができたのはなぜでしょう。 ・友達に「いい肩してるね。」と褒めてもらい、自信が出てきたから。 ・自分にもいい所があると気付いて、嬉しくなったから。 ・苦手なこともできるようになってきたから。 ・先生や家族の応援があったから。 ・新しい目標ができたから。	・主人公の劣等感や自信のなさに共感させる。 ・友達や家族の言葉で自分のよい所に気付き、前向きに自信をもって生きている主人公の気持ちを押さえ、よい所を伸ばすことのよさを考えさせる。
	3 自分のよい所をさらに伸ばすためにできることを考える。DVD 4-3 DVD 4-4	○自分のよい所をさらに伸ばすために取り組んでみようと思うことを書いてみましょう。 ・友達だけでなく、下級生にも優しく声がけする。 ・自分の力を伸ばすために、自主学習に毎日取り組む。 ・運動会でソーランをもっと上手に踊れるように、上級生に聞きながら毎日練習する。	・学級活動での「よい所見つけ」も想起しながらカードに書き、ペアで伝え合うことを促す。
終末	4 「わたしたちの道徳」P48を読み、本時のまとめをする。DVD 4-5	○人生の先輩からのメッセージを聞きましょう。 ・マリー・キュリー ・手塚 治虫 ・俵 万智 ・千住 真理子	・余韻をもって終わる。

【評価】

※自分の特徴に気付き、よい所をさらに伸ばすために取り組んでみようとするということについて考えをまとめている。（発言・カード）

5 他の教育活動との関連

国語科 「走れ」
 家族の声援によって前向きに走ることができた主人公の気持ちを読み取る。

特別活動（学級活動）
 「自分のよい所・気になる所」
 自分のよい所や気になる所を見つめ直す。
 （「わたしたちの道徳」P46・47）

図画工作 「ふしぎなたまご」
 作品を交流しながら鑑賞し合う。

体育科 「水泳」
 がんばりやよさを認め合う。

家庭との連携
 「家族からのメッセージ」
 家族の人により所を書いてもらい、自分のよさに気付かせる。



【児童の感想】

○友達が自分のいい所を見つけてくれて嬉しかったです。「自主学習を何ページもがんばって取り組んでいる。」という新しい自分のいい所を見つけられてよかったです。

○友達やお母さんが私のいい所をしっかり見てくれて嬉しかったです。

○友達と「気になる所も見方を変えればよい所になるね。」と話して嬉しい気持ちになりました。よい所が二つも増えたのは、友達と一緒に考えたからだと思います。これからもよい所を増やしていきたいです。

【特別活動との関連を生かす工夫】
 学級活動の中で、「わたしたちの道徳」P47を活用し、児童一人一人が「自分のよい所・気になる所」を考える活動をした。
 「こんないい所があるよメッセージ」を友達や家族からもらったことで、自分では気付いていなかったよさを新たに知った児童もいた。
 気になる所も見方を変えればよい所になるというリフレーミングの考え方を取り入れ、ペアで話し合い、伝え合う活動を行っていたので、本時では、その自分のよさをどのようにして伸ばしていくかについて考える活動につなげる。

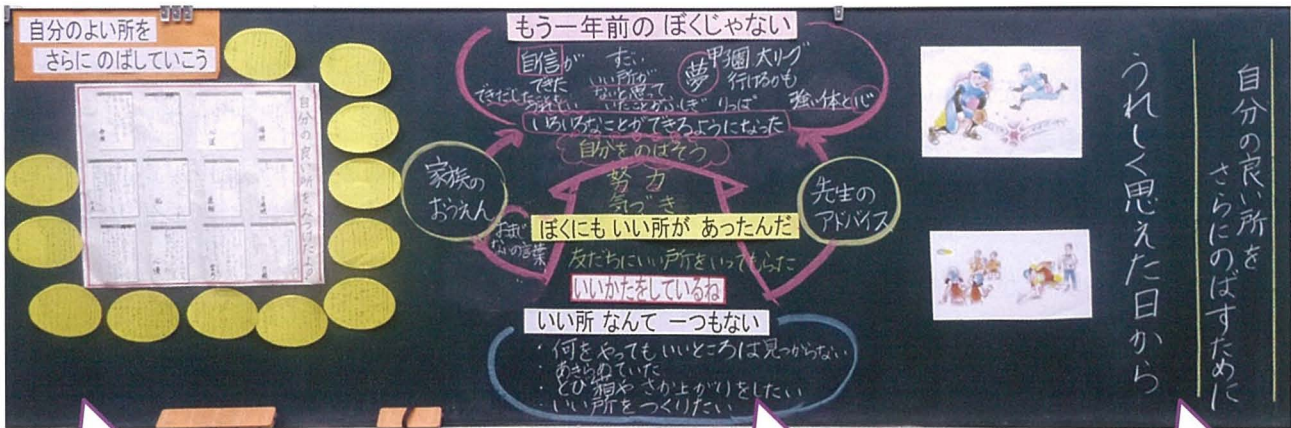
道徳
【個性の伸長】
 「うれしく思えた日から」（わたしたちの道徳）

国語科の「目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと」の発展として、個性を生かして生きた人の伝記を読む活動を仕組み、様々な生き方に触れたことによる学びを「わたしたちの道徳」P49に記入したり、自分の個性をどのようにして伸ばしていったかを紹介し合ったりしながら道徳の時間につなげたい。

道徳
【個性の伸長】
 「発明家 ベル」

6 実践の記録

板書のポイント



③事前の学級活動で考えた「自分のよい所」のワークシートの周りに、本時に一人一人が考えた「よい所をどのように伸ばしていくか」を書いたカードを貼り、全員で共有した。

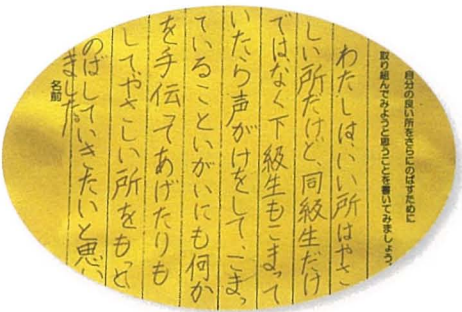
②主人公の価値の高まりを捉えやすいように、下から上に短冊を貼りながら、心の動きを構造的に板書していった。

①本時で学習する課題を示す。

【解説】
 事前の学級活動の学習を踏まえて本時の学習課題を提示する。本時の学習課題が、展開後段において、児童一人一人の個性の伸長につながっていることに気付かせる。
 主人公の考え方や生き方など心の変容を視覚的に捉えやすくするために、矢印や色チョーク（人間理解の所は青、価値観が高まっていく所は赤）を用いて整理していくことで、思考の深まりをねらう。

言語活動の充実 DVD 4-3 DVD 4-4

【カードに書いたことを発表】



(友達の発表に対して)
 ○○さんは優しいし、いつもにこにこしているから、その明るさがみんなに広がり、クラス全体がもっとよくなるように、その優しさをもち続けてほしいと思います。

わたしのよい所は優しい所だけど、同級生だけではなく下級生も困っていたら声がけをしたり何か手伝ったりして、優しい所をもっと伸ばしていきたいと思いました。

【解説】
 自分のよい所を発表した友達に、感じたことを伝えるようにしている。友達の発表をよく聞き、自分なりの感想をもって伝え合う。

中心場面において、問い返しの発問による思考の深まりをねらう DVD 4-2

T：しょうくんは「いい肩してるね。」と友達に言われて野球をがんばったんだよね。なぜ跳び箱や鉄棒までできるようになったのかな？

C：野球を始めて体を動かすことが得意になったからです。

C：友達にいい所があると言ってもらって自分に自信がもてたからです。

C：自分にいい所があると気付いて、もっといい所を増やそうと思ったからです。

C：自分にもできるということが嬉しく思えたからだと思います。

T：でも、しょうくんはまだ野球でレギュラーになっているわけじゃないよね。それなのに、厳しい練習をがんばることができているのはなぜかな？

C：試合に出たい、将来甲子園に行けるかとも思ってがんばっているんだと思います。

C：友達に言ってもらった「いい肩してるね。」の言葉が嬉しかったからがんばることができるのだと思います。

C：家族からのメッセージを無駄にしたくないと思ってがんばっていると思います。

T：しょうくんは、今、こんな自分のことをどう思っているのだろう？

C：別人のように変わったと思っているんじゃないかと思います。

T：別人？どんなふうに変ったの？

C：季節の変わり目でも風邪なんかひかない強い体になったと思います。

C：自信ができて、もう弱くはない、強い心をもったしょうくんに変ったと思います。

【解説】

中心発問だけでは、教材に書いてあることを答えるだけになってしまったり、努力・忍耐の方に話合いが流れていったりする心配があった。

そこで、自分のよさに気づき、それを伸ばしていくという生き方のすばらしさを捉えられるように、問い返しの発問を入れながらねらいに迫っていくようにした。

この問い返しの発問による全体での話合いが、この後の「自分のよい所をさらに伸ばすために」を考える際の意欲的な思考につながったと考える。



【児童の発言を受けて、全体に問い返す】

保護者との連携

道徳授業の様子や取組への協力を学級通信に掲載

かがやく

2015・8・23

道徳授業「うれしく思えた日から」

【保護者の皆

残響が厳し

た。

4年生では

読み物

き、自分のよ

した学習をす

のよい所を伝

いか子ども

そこで、保護者の皆様にお子さんのよい所を書いていただ

です

同様

且

た

す

授業実施前に「保護者の方へ 協力をお願い」

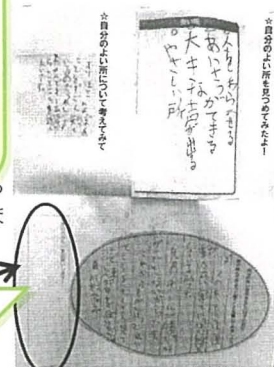
道徳の時間に、読み物教材「うれしく思えた日から」を使って、「自分のよさに気付き、自分のよい所を伸ばそうとする態度を育てる」ことをねらいとした学習をする予定です。家族や友達から自分のよい所を伝えてもらい、そのよい所をどのように伸ばしていきたいか子供一人一人が考え、書く活動を行いたいと考えています。そこで、保護者の皆様にお子さんのよい所を書いていただきたいです。

授業実施後にも「保護者の方へ 協力をお願い」

子供たちは、よく考え、自分の思いを発表したり、友達の考えに対して自分の感じたことを伝えたりすることができました。授業の中で子供たちが書いた「自分のよい所を伸ばすために取り組んでみようと思うこと」に対して、お家の人から励ましの一言をいただきたいです。

メッセージや友だちからのメッセージについて考え、道徳の時間に、所をどのようにしてのぼしている学校の先生方の参観もあったり友だちの考えに対して自分

ましていくのに取り組みたいこ



【保護者からの一言より】

- 自分では気が付いていない自分のよい所を友達に言ってもらうことは嬉しいですね。よい所はどんどん伸ばしてより魅力的なレディーになってほしいです。
- 友達のコメントを読んで、「周りを楽しませる」というのが親として嬉しかったです。これからも周りの人たちを元気にする優しい人でいてね。
- 友達が泣いているときに、そばに行って声をかけてあげることができる優しい心をいつまでも大事にしてほしいです。歌も上手だよね。がんばって歌って楽しい時間をつくってね。

【まとめ】

本時まで、友達や家族から「よい所メッセージ」を寄せてもらい、自分のよい所を考える活動を行った。友達だけでなく家族からもメッセージがあったことで、児童は照れながらも嬉しそうに自分のよい所についてじっくりと自分自身を見つめることができた。また、授業後にも我が子に向けた保護者からの一言メッセージをいただいた。

今後も、道徳の授業や取組について学級だよりや学校だよりで家庭や地域に発信し、学習のねらいや道徳的価値への気付きを共有していきたい。保護者や地域の方々に、児童を支えていただくためにも引き続き、家庭や地域との連携強化を図っていきたい。